

喜びをつくる 様々な挑戦

家族のような 温かさに感謝

新しい年を迎え、今年もみの〜れで趣味や特技を生かして活躍されている方々に出会い、少しでも読者の皆さんが「私も何かに挑戦してみたい!」と感じられる「みの〜れライフのすすめ」が出来たらいいなと思っています。大寒を迎え毎日寒い日が続きますが、庭先の福寿草が小さな顔を覗かせました。今回は、思い切つてみの〜れに飛び込み、ゴールデンウィークには「ここで逢えたら:・v・o・i・3」に初出演する武石千絵子さんを取材する。



「色々なことにチャレンジできることがみの〜れに来る楽しみのひとつです。」と語る武石さん

演劇ファミリーMyu

武石千絵子さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.32

演劇ファミリーMyuの

一員として活躍されている武石さん。高校生の頃は「何になりたくない」とか、「何をしたい」とか見つからなかったと話す。それが親子で見るとようになった「おかあさんといっしょ」がキツカケで、声優になりたい!という想いが芽生え、養成所に通っていたそう。家族の応援もあったが、子育てや仕事に追われることが多くなり、声優への道をあきらめた。

かけた時、目に飛び込んできたのがみの〜れ舞台表現ワークショップの参加者募集の記事だった。「みの〜れがどこにあるかも知らなくて、開催されるギリギリまで参加するかどうか迷っていました。」と武石さん。思い切つて飛び込んで来た武石さんは、みんなの温かさに不安もなくなり、ホツとしたという。「あのときの決心がなかったら、今の私はない...」と当時を振り返る。

「出演が決まったときは、プレッシャーで押しつぶされそうになった。」と武石さん。そんな不安を抱えた武石さんも「壁を作らずに思ったことは何でも言つてね」とみんなが声をかけてくれたおかげで肩の荷がおりたという。話合もいも堅苦しくなく、真面目な話をしながらも笑いが入る和やかな雰囲気のおかげで、自分なりに一生懸命やろうと気持ちに変化していったという。

「ダンスが苦手」と話す武石さんは娘さんとダンスの練習をするのもあるという。ダンスの好きな娘さんから「ママ、ここはこうだよ」と教えられることもあるそう。今は、公演にむけて発声練習にも力を注いでいる。「周りがかく歌い上手なので、一生懸命車の運転をしながら歌いこんでいます」と公演に向けて練習に余念がない。「公演に向けてプレッシャーを感じています。今回、『幸せの秘密』というテーマがあります。お客様がそれぞれに何かを感じとって頂けたら:・v・o・i・3」と思っています」と語る。

「みの〜れに来るようになり、出来そうだな!やってみたいな!と思うことには必ず挑戦してみようという気持ちで芽生えるようになった。」と武石さん。機会があればギターの弾き語りもやってみたいと思っていると次の目標も語ってくれた。

(藤田佐知子)